



2021年4月13日

各位

株式会社 リテールパートナーズ
代表者名 代表取締役社長 田中 康男
(コード番号 8167 東証第一部)
問合せ先 専務取締役 清水 実
電話番号 (0835) 20-2477

業績予想と実績値との差異および減損損失の計上に関するお知らせ

2020年7月2日に公表いたしました2021年2月期(通期)の連結業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じており、また減損損失を計上しておりますので、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異について

2021年2月期(2020年3月1日~2021年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 236,300	百万円 6,250	百万円 7,000	百万円 4,250	円 銭 96.95
実績値(B)	241,844	8,384	9,279	4,932	112.53
増減額(B-A)	5,544	2,134	2,279	682	—
増減率(%)	2.4%	34.1%	32.6%	16.1%	—
(ご参考)前期実績 (2020年2月期)	228,814	4,466	5,216	2,240	50.04

差異の理由

当連結会計年度における連結の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクや消毒液など衛生用品や「すごもり消費」から内食需要が高まり、食料品・日用品の販売が好調となりました。加えて特売の自粛による売上総利益率の上昇もあり、この傾向は、8月以降も継続し、更に2020年11月より第3波の広がりを受けた「緊急事態宣言」が再発出されるなど続いたことから、営業利益、経常利益、当期純利益を大きく押し上げ、本日の決算発表の通り前回発表予想を上回る結果となりました。

2. 減損損失の計上の内容

2021年2月期において、当社グループの保有する固定資産について、店舗閉鎖の意思決定をした店舗資産や収益性の低下がみられた店舗資産等について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、第4四半期連結会計期間において減損損失1,176百万円を計上いたしました。

3. 業績に与える影響

上記の特別損失は、本日付にて公表の「2021年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映しております。

以 上